

フク小情報

福井県産【大麦・小麦】の
収量アップを目指して!!

JA福井県

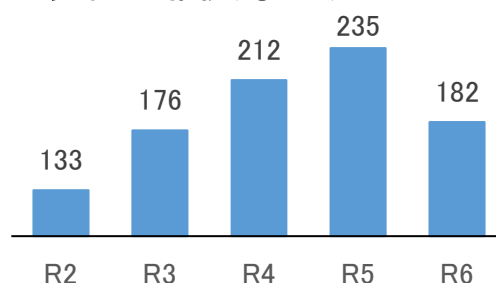
No.2

(小麦：福井県大3号)

● 土壌水分を判断し適期播種で収量アップ！

R6年産小麦は、播種時期の降雨により発芽不良を起こし収量は、R3年並みの結果となりました。R7年産はV字回復する為にも、播種前の排水対策を実施し適期播種で収量アップを目指しましょう。

小麦単収の推移(kg/10a)



1. 播種のポイント

播種目安は10月10～30日までです(特に山間部は10月10日頃から播種を開始し、発芽率の安定化を図る。)播種が早いと病害の影響を受けやすく、遅いと茎数不足による収量低下などにつながります。

①排水

麦類は土壌湿害を受けやすく被害を出さないためにも、土壌がよく乾いた状態で播種をしましょう。そのためにも排水対策が重要です。

- 圃場の排水性に合った対策(排水溝や排水口の接続・手直し)。

②播種

- 土壌水分が良いときに播種。
(土壌水分が高い場合は散播も検討)
- 耕起から播種までは1日で作業完了する
- 播種適期:10月10～30日
(特に山間部が10月10日頃から播種開始)
- 播種量:7～10kg/10a

- 施肥:年内に肥料切れをさせない!!

年内に「肥料切れ」しないように、施肥設計をしましょう。年内に「肥料切れ」を起こして「黄化」すると、茎数確保ができずに減収します。『基肥一発肥料』は、緩効性肥料により、年内の「肥料切れ」を防ぎ収量・品質が安定します。

2. 除草剤の散布

小麦栽培において収量減につながりやすいのが、雑草害です。ほ場に雑草が繁茂すると生育不良や、収穫物への混入による品質低下などが起きる恐れがあります。播種後から雑草発生前までに除草剤を適期に散布しましょう。

区分	薬剤名	使用量	備考
細粒剤	ハーモニー細粒剤F	4～5kg	播種後～麦3葉期(雑草発生前)
粒剤	ガレースG粒剤		播種後発芽前(雑草発生前)
細粒剤	キックボクサー細粒剤	3～4kg	播種後発芽前(雑草発生前)
乳剤	トレファノサイド乳剤	200～300ml	播種後発芽前
	ボクサー乳剤	400～500ml	播種後～小麦4葉期
水和剤	ハーモニー75DF水和剤	5～10g	播種後～